

当院パニック値の解析と対応アルゴリズムの検討

1. 研究の対象

2017年4月1日から2019年3月31日に当院で中央検査部より医師にパニック値を報告した方

2. 研究目的・方法

パニック値とは緊急報告が必要な臨床的影響度の高い検査値のことです。当院では、パニック値が発生した場合、検査技師から看護師を通じて医師へ15分以内に緊急報告する体制をとっています。中央検査部よりパニック値を報告した蓄積データをもとに、報告後直ちに医師に報告され適切な対応がされているかを検証し課題を見いだします。更に、検査項目毎に対応のアルゴリズムの作成を目的としています。

3. 研究期間

倫理委員会承認日から2020年8月31日

4. 研究に用いる情報の種類

情報：臨床検査値、病名、薬剤、処置記録 等

5. 研究組織

済生会熊本病院 （研究責任者 検体検査管理室長 副島 秀久 ）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

窓口：中央検査部 検体検査室 上島 さやか

電話：096-351-8000(病院代表)

以上